

身近な自然素材を暮らしの中で

村田 美津子（豊岡市立コウノトリ文化館・NPO 法人コウノトリ市民研究所）

はじめに

コウノトリ文化館のコンセプトの一つに「人と自然が共生できる暮らし方を考え、実践し、提示していきます」というのがあります。これを実践しているのが、主に植物の実や葉などの自然素材を使った物づくりイベントです。身近な自然素材が今でも暮らしの中で十分に役に立ち、積極的に活用することで、植物そのものにも関心を持ってもらえるようになるのではないかと考えています。



写真1 参加者の作品（リース）

事例とイベント時での工夫

イベントでは、普段の暮らしに取り入れてもらいやすいように、クリスマスリースやマスコットを作ったりハンカチを染めたりしています。既成のパーツを組み合わせるわけではないので、「自分で作った」という達成感もあるのではないかと思います。

植物そのものに関心を持ってもらうための工夫もしています。クラフトでは、素材を豊富にそろえて種による違い、同種でも形や大きさの違い、色の濃淡・豊富さに気づきやすいようにしています。そして、どの素材にも個性があり、角度を変えたり裏返したり分解することで、全く違うもの（例えば鳥の顔や脚）に見えることがあり、造形の面白さがわかります。

草木染では植物本体からは想像できないような色が出ることで、新鮮な感動を覚えるでしょう。見ただけでは気づけない情報はレジュメを作って触れるようにしています。

まとめ

人が誕生して以来、私たちは直接あるいは間接的に自然のものを生活の中に取り入れて使ってきました。

使い過ぎれば環境を破壊してしまう可能性があります(例えば森林)。使わなくなると遷移で環境が変わり、その場所に棲めなくなる動植物が出てくる可能性もあります(例えば里山)。

身近な自然素材を生活の中に取り入れることで、自然と共生する暮らし方のこともぜひ考えてみてください。



写真2 草木染

参加者作品





講座で使用したレジュメ

クズ(葛)

どんな植物かな (クズの正体)

は葉



は花



かお顔?



食べられるよ!!

昔は餅こから餅屋の由して葛根の繊維とのかき子を作ったんだ。今は葛根には葛根湯という薬液に使ったことが多い。

葛根は乾かして食べるとおいしいよ!

困ったな"(-"-)"

クズは煮れ煮でも天高く飛んで命の危険を犯らしてしまうことがよくある。アメリカではクズがめちゃくちゃ大きくなって葛根をのこして、草を寝て食べられなくなったという話まであるよ。でも、釜で煮て食べると葛根はクズの種を食べて腐るらしいという話もあるよ。クズめいじか聞いてびっくりするけど、クズめいじか聞いてびっくりするよ。

どうしよう?!

食べすぎたらいんじんだよ。葛根は餅こから作るのだから、餅屋を天高くにして食べるといいよ。

野の山菜の時期には食べてみよう! (クズ)☆☆

マツボックリ



マツボックリ(松の果)のこぼれ、長い繊維のついでにあるんだよ。餅屋のついでから、葛根で餅をマツボックリで、また餅を餅でいるよ。餅屋のついでからマツボックリで、餅の葛根を餅でいるよ。餅屋のついでからマツボックリで、餅の葛根を餅でいるよ。



マツボックリ(松の果)のこぼれ、長い繊維のついでにあるんだよ。餅屋のついでから、葛根で餅をマツボックリで、また餅を餅でいるよ。餅屋のついでからマツボックリで、餅の葛根を餅でいるよ。

食べられるよ!

マツボックリ(松の果)のこぼれ、長い繊維のついでにあるんだよ。餅屋のついでから、葛根で餅をマツボックリで、また餅を餅でいるよ。餅屋のついでからマツボックリで、餅の葛根を餅でいるよ。

困ったな"(-"-)"

マツボックリ(松の果)のこぼれ、長い繊維のついでにあるんだよ。餅屋のついでから、葛根で餅をマツボックリで、また餅を餅でいるよ。餅屋のついでからマツボックリで、餅の葛根を餅でいるよ。

どうしよう?!

マツボックリ(松の果)のこぼれ、長い繊維のついでにあるんだよ。餅屋のついでから、葛根で餅をマツボックリで、また餅を餅でいるよ。餅屋のついでからマツボックリで、餅の葛根を餅でいるよ。

◆フタナ (別名タンポポモドキ)

キク科

何年も生える草の仲間。元々はヨーロッパに生えている植物ですが、ほとんど世界中に広がって普通に生えています。全体に硬い毛が生えています。昔から葉にかけて黄色い布が染まると、黄さは80cmくらいになります。

ヨーロッパではハーブとして扱われています。フランスでは餅が好んで食べることから「餅のサラダ」と言われ、それが日本では「フタナ」になったと言われています。



タンポポ科の黄色い花



タンポポ科の緑色の葉



タンポポ科の黄色い花



タンポポ科の緑色の葉

◆フタナ染色手順



① 布を水で洗ってよく絞る。また、布を水で洗ってよく絞る。



② 布を水で洗ってよく絞る。また、布を水で洗ってよく絞る。

※ 下処理	植物繊維の布は、大豆の汁(水につけた大豆をすり潰し、水と混ぜた汁)や牛乳を染みこませる。	
1	デザイン決め	10分
2	煮染め	約70℃、フタナ抽出液 20分
3	冷やす	染め液に漬けたまま 15分
4	濯ぎ	約40~50℃、キュウパン底 30分
5	すすぎ	流水すすぎ
6	染めぬ	約70℃ 15分
7	冷やす	染め液に漬けたまま 15分
8	すすぎ	すすぎ
9	晒干し	風通しのいいところで